

令和2年度 地域人材との連携による子どもの読書活動推進事業の概要

10月2日（金）羽幌町立羽幌小学校において小・中学校と市町村立図書館の連携「公開研究発表会」と2月15日（月）宗谷教育局主催で、宗谷・上川・留萌管内公開研究発表「交流会（オンライン）」を開催しました。「公開研究発表会」は管内小・中学校の学校図書館担当教員や羽幌町担当職員等12名が参加しました。

「交流会（オンライン）」では3管内それぞれ1校ずつ発表していただき、学校図書館の効果的な活用と連携について実践交流し、理解を深めました。その概要をお知らせします。

（1）小・中学校と市町村立図書館の連携「公開研究発表会」

単元：第6学年国語科「書評を書いて話し合おう」

授業者・発表者：羽幌町立羽幌小学校教諭 安澤 学 氏

◆授業の流れ

- ① 自分の読書を振り返る活動
・・・ジャンル分けて自分の好きな本の傾向を知る等
- ② 相手意識をもって書評を書く
- ③ クラスメイトの前で発表しコメントをもらう（本時）

◆公民館司書との連携

- ・本の貸出・選定のアドバイス
- ・6年生に読み聞かせ
- ・本時で児童の書評について講評し読書活動への意識付け



【授業の説明】



【書評の発表】



【コメントの交流】



【公民館司書による講評】

◆研究協議から生まれたアイデア

- ・本授業で作成した書評を公民館図書室で掲示してはどうか。
- ・管内の図書室でも掲示して小学校間の書評交流ができるとうい。

◆交流から各学校と図書室・図書館の連携事例

- ・公民館司書による出前授業 ・読み聞かせ DVD の提供
- ・「授業改善推進チーム」は小学校2校と町図書室の教科書掲載図書を調べまとめたものを先生方が見られるよう共有し、貸出の橋渡しをしている。



【研究協議・交流の様子】

◆今後の取組への視点◆

学習指導要領の総則に「学校図書館、地域の公共施設の利活用」が明記されています。学校図書館全体計画の策定や、それに則った計画的な学校図書館の活用が大切となります。連携については、例えば司書教諭などを連携コーディネーターとして校務分掌に位置付ける、コミュニティ・スクールを活用するなど、「この人だから」にならないよう、学校全体の取組とすることが大切です。

（2）宗谷・上川・留萌管内公開研究発表「交流会（オンライン）」

各学校の特徴的な取組



【交流会（オンライン）の様子】

【留萌】羽幌町立羽幌小学校

- ・ブックフェスティバル・ビブリオバトル
- ・町立図書室による町内全小・中学校の蔵書管理システムの運用

【宗谷】豊富町立豊富小学校

- ・「並行読書」単元の重点化と指導計画への位置付け
- ・PTA と連携して長期休暇に「家読ノート」の実施

【上川】東神楽町立東神楽小学校

- ・図書委員会の取組としての図書購入
- ・学校司書の効果的な活用（教科で必要な図書の準備、授業補助等）

◆今後の取組への視点◆

読書率を伸ばすには、子どもたちが自然に本に触れる環境づくりが大切です。学校図書館の環境が整うと読書率は必ず上がります。事例集等で紹介されている各学校の好事例を参考に、ぜひ取組んでいただきたいと思います。